

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	別府大学附属看護専門学校
設置者名	学校法人 別府大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護科	夜・通信	1,842 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 http://www.beppu-kango.ac.jp/a1_zenniti/a7_syllabus/a7_kamoku.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	該当なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	別府大学附属看護専門学校
設置者名	学校法人 別府大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 (<https://www.beppu-u.ac.jp/general/academy/about/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 民間企業 代表取締役社長	H31. 4. 1 ～R4. 5. 31	経営・教学 ・コンプライアンス
非常勤	(現職) 民間企業 代表取締役会長	H29. 6. 1 ～R3. 5. 31	経営・教学 ・コンプライアンス
非常勤	(現職) 地方銀行 常務取締役	H29. 6. 1 ～R3. 5. 31	経営・教学 ・コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	別府大学附属看護専門学校
設置者名	学校法人 別府大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務研究会等で授業計画(シラバス)を検討し、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準を作成し、ホームページで公表している。 ・科目のねらいや履修の目的を示し、公表の時期は毎年3月としている。 ・授業科目のねらいと教育内容、授業計画(シラバス)、進度表を学生便覧及びホームページで公表している。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学生便覧(学生には入学時に配布。希望者には閲覧可能。)及びホームページにて公表 http://www.bepu-kango.ac.jp/a1_zenniti/a8_lesson/a8_syllabus.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全科目において単位認定試験を実施している。臨地看護学実習においては、臨地での実習指導者と本校担当教員とのそれぞれの成績点から評価をしている。 ・学修成果を厳格かつ適正に評価して単位授与または履修認定を行うため学生は欠席した翌日に担任に出欠席表を提出し、確認印をもらっている。単位認定試験実施前に担任は、学生にその試験を受験するための講義時間数が満たされているかの確認と欠席理由(正当な理由が証明できるものの提出等)についても審議している。 ・授業科目の評価及び単位の認定にかかる方針をホームページで公表している。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価基準（学則第11条及び細則第14条）については、入学時に学生には学生便覧（冊子）を用いて説明し、実施時期については「講義実施計画表」を事前に配布し適切に実施している。 ・本校の単位の認定については、学則第11条及び細則第14条に定め、1.出席時間数が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目の評価を受けることができない。2.授業科目の評価は、優(80点以上)・良(70点から79点)・可(60点から69点)及び不可(59点以下)とし、可以上を合格としている。 ・さらに Functional GPA (Grade Point Average) を導入して、GPAを確認することで本校の教育の質を見直し向上に繋げている。学生においては、個人の成績を数値化することで、その年度の学修成果や翌年度の数値目標を立て自主的に学習していくことが望まれる。客観的指標を設定しホームページで公表している。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 http://www.beppu-kango.ac.jp/a1_zenniti/a8_lesson/a8_gpa.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマポリシー (卒業の認定方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本校の教育課程に定める授業科目及び臨地実習を修了し、70単位を修得した学生に対しては、卒業証書を授与する。 2. 本校看護科を修了した者には、専門士(医療専門課程)の称号を授与する。 <p>(教育目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を修得している。 2. 人々の健康は、自然・社会・文化的環境の変化により影響し合うことを理解する能力を修得している。 3. 人々の多様な価値観を認識し専門職業人としての共感的態度及び倫理に基づいた看護を実践できる基本的能力を修得している。 4. 人々の健康上の課題に対応するために、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基本的能力を修得している。 5. 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期などの健康水準や心身の障害に応じた看護を実践するための基本的能力を修得している。 6. 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践する基本的能力を修得している。 7. 看護師として生涯にわたり、社会の変化をとらえ、最新知識・技術を自ら学び続ける基本的態度を修得している。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 http://www.beppu-kango.ac.jp/a1_zenniti/a2_outline/a2_5gakusoku.html (学則第9章卒業)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	別府大学附属看護専門学校
設置者名	学校法人 別府大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	別府大学ホームページ 財務状況・事業報告 https://www.beppu-u.ac.jp/general/academy/financial-report/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	看護科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,220時間/70単位	1,455時間/単位	単位時間/単位	765時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		71人	0人	7人	69人	76人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）・教務研究会等で授業計画（シラバス）を検討し、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準を作成し、ホームページで公表している。
・科目のねらいや履修の目的を示し、公表の時期は毎年3月としている。

成績評価の基準・方法

（概要）・成績評価基準（学則第11条及び細則第14条）については、入学時に学生には学生便覧（冊子）を用いて説明し、実施時期については「講義実施計画表」を事前に配布し適切に実施している。
・本校の単位の認定については、学則第11条及び細則第14条に定め、1.出席時間数が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目の評価を受けることができない。
2.授業科目の評価は、優(80点以上)・良(70点から79点)・可(60点から69点)及び不可(59点以下)とし、可以上を合格としている。
・さらにFunctional GPA (Grade Point Average)を導入して、GPAを確認することで本校の教育の質を見直し向上に繋げている。学生においては、個人の成績を数値化することで、その年度の学修成果や翌年度の数値目標を立て自主的に学習していくことが望まれる。客観的指標を設定しホームページで公表している。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要) (ディプロマポリシー) 本校では次の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、専門士の称号を授与している。</p> <p>1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養っている。2. 人々の健康は、自然・社会・文化的環境の変化により影響し合うことを理解する能力を養っている。3. 人々の多様な価値観を認識し専門職業人としての共感的態度及び倫理に基づいた看護を実践できる基本的能力を養っている。4. 人々の健康上の課題に対応するために、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基本的能力を養っている。5. 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期などの健康水準や心身の障害に応じた看護を実践するための基本的能力を養っている。6. 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践する基本的能力を養っている。7. 看護師として生涯にわたり、社会の変化をとらえ、最新知識・技術を自ら学び続ける基本的態度を養っている。</p>
学修支援等
<p>(概要) ・主体的に学ぶため、ポートフォリオを用いて、目的を持たせ1年次から国家試験対策として、少人数で教員によるゼミ学習を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験を1年次から受験し、2年次では夏期・冬期休暇期間中に計5日間の休暇学習を実施している。 ・外部講師による出張講義を年2回取り入れ、学生が不得意とするところをピンポイントで解説し学習効果を上げている。 ・成績低迷者の学習支援を教員が戦略的に関わっている。※第108回看護師国家試験全員合格(合格発表 H31/3/22)

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	2人 (5.3%)	34人 (89.5%)	2人 (5.3%)
(主な就職、業界等) 医療関係(看護師として就業)			
(就職指導内容) 全体指導、個別指導、受験先をイメージしての模擬面接(校長・教務主任・担任等)			
(主な学修成果(資格・検定等)) 第108回看護師国家試験全員合格、進学希望者進学先合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	2人	2.6%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 放課後学習支援、少人数でのゼミ学習支援、三者面談(本人・保護者・学校)等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他 (年間)	備考 (任意記載事項)
看護科	300,000 円	550,000 円	50,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス http://www.beppu-kango.ac.jp/a1_zenniti/a8_lesson/a8_selfcheck.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 2020年度からは、①質の高い看護教育を行っているか、②めざす看護教育の目的が達成されているか③教育理念に沿った学校運営が成されているか、等の視点に立って客観的な評価を受けるために、学校関係者評価を実施する。 既に3名の委員を依頼しており、2020年4月に第1回の評価委員会を開催し、6月に評価結果をホームページにて公表する予定である。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
特定医療法人社団春日会 黒木病院 直営 総合ケアセンター	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	同窓会会長
別府市医師会看護専門学校	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	学識経験者
別府大学食物栄養科学部食物栄養学科	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	学識経験者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2019年度にかかる評価を2020年度に確実に実施し公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス http://www.beppu-kango.ac.jp
